

22 病院・診療所

【関連章第7章5】

事例1 「病院の血管造影室から出火した火災」

出火時分 2月 10時ごろ
用途等 病院 耐火造 16/2 延 78,000 m²
防火管理 該当選任あり 消防計画あり
被害状況 建物ぼや1棟 内壁若干、4口テーブルタップ1個等焼損
概要

この火災は、病院2階の血管造影室から出火したものです。

出火原因は、テーブルタップに差し込まれていたコンピュータの電源プラグ部分で、トラッキング現象が発生し出火したものです。

2階で勤務していた検査技師は、事務作業中に後方から「パン」という音を聞き、振り返ると机に置かれたテーブルタップから炎が上がっているのを発見しました。

火災を発見後検査技師は、部屋の中の強化液消火器を使用して初期消火を試みましたが消火しきれず、ほかの部屋に置かれた粉末消火器を使用して初期消火に成功しました。

火災発生後に自動火災報知設備が鳴動しており、病院従事者は血管造影室に行き、煙が見えたので病院の固定電話で消防署に通報しました。

教訓等

この火災は、テーブルタップに差し込まれていた電源プラグ部分で、トラッキング現象が起きたことにより発生しています。

トラッキング現象とは、コンセントに差し込んだプラグの差し刃間に付着した綿埃等が、湿気を帯びて微小なスパークの繰り返しにより差し込みプラグの絶縁が破壊され、やがて差し刃間に電気回路が形成され出火する現象をいいます。トラッキング現象は電気機器の電源を切っている状態でも、コンセントに接続しているだけで起きる可能性があるため、机や棚の裏で使用しているコンセントやテーブルタップを定期的に清掃を行いましょう。



写真 22-1 テーブルタップの接続状況

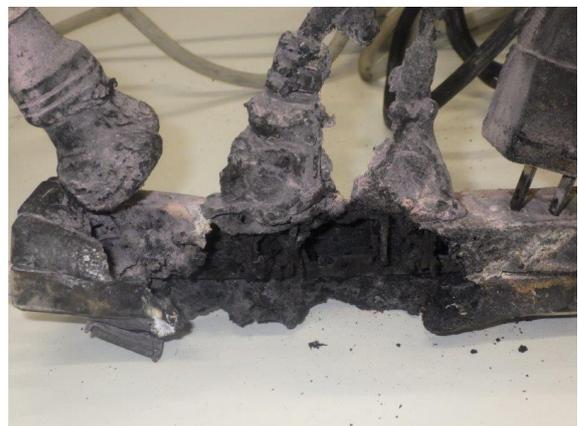


写真 22-2 テーブルタップの焼損状況